

# 令和3年度茅野市高齢者大学学生募集要項

## 1 募集学生の種類及び定員

### ■ 募集定員 **70名程度**(新型コロナウイルス感染防止のため、例年の約半数としています)

※ 下記募集期間に各地区コミュニティセンター及び中央公民館にて申し込んでください。  
受付時間は平日の9時～17時です。

※ 申し込み受付は先着順とし、定員に達し次第締め切ります。

(1) 学 生 新入生及び本学1～3年修了生、修業年限4年  
(県シニア大学修了者は、3年次編入希望可)

(2) 研究生 本学卒業生、修業年限2年

(3) 聴講生 本学研究生修了者

※ 聴講生については学生・研究生を募集後、定員の範囲内での募集になります。

## 2 募集期間

学生及び研究生 令和3年3月22日(月)～4月16日(金)

※ 各地区コミュニティセンターでの受付は**3月22日(月)から4月2日(金)**までとします。  
以後の受付は中央公民館のみとなります。

聴講生 令和3年4月19日(月)～4月26日(月)

※ 各地区コミュニティセンターと中央公民館で受け付けます。

## 3 入学資格

茅野市内在住の概ね60歳以上の方で、主体的に学ぶ意欲を持ち、ほぼ全ての講座を受講できる人。

## 4 修了および卒業について

修了および卒業のためには、教養講座・技能講座いずれも欠席が3回を超えないことを条件とします。

## 5 開講日

本年度は新型コロナウイルス感染防止のため、教養講座と技能講座のみ別日での開催とします。(運動講座・日帰り研修・ふれあい芸能祭「学びの発表」は行いません)

教養講座の一般聴講は新型コロナウイルス感染防止のため実施しません。学生及び研究生、聴講生のみ参加可能となります。

技能講座については、1講座の定員を**20名以内(リメイク15名以内)**とします。受講講座については先着順(第1希望優先)で決めさせていただきます。

### ■ 入学式 5月19日(水)

### ■ 教養講座 ① 5月25日(火) ② 6月 3日(木) ③ 6月15日(火)

④ 6月23日(水) ⑤ 7月12日(月) ⑥ 7月20日(火) ⑦ 9月 1日(水)

⑧ 9月17日(金)

### ■ 技能講座 ① 6月15日(火) ② 7月 2日(金) ③ 8月10日(火)

④ 8月20日(金) ⑤ 8月26日(木) ⑥ 9月10日(金) ⑦ 9月28日(火)

### ■ 卒業証書授与式 10月6日(水) 全16回

## 6 講座内容

### (1)入学式【全員参加】 午前10:00～11:30(含休憩10分)

開 講 日	講師(敬称略)・演題・講演内容
5月19日(水)	入学式(10:00～) ※終了後、技能講座打ち合わせ 式辞 祝辞 新入生代表挨拶 運営委員技能講座講師紹介 オリエンテーション

(2)教養講座【全員受講】 午後1:30～3:30(含休憩10分)

[開講期日] 5/25 6/3 6/15 6/23 7/12 7/20 9/1 9/17 全8回

開 講 日	講師(敬称略)・演題・講演内容
5月25日(火)	<b>茅野のふしぎ発見</b> 関 雅一(長野県歴史地理学会会長) I. 坂本養川のせぎ 坂本養川のせぎは、八ヶ岳山麓全体のことを考えてあります。当時としては非常に独創的な水を引く仕組みは、どうなっているのでしょうか。 II. 「茅野」と「ちの」は、どちらがう? なぜ宮川は「茅野」で上原は「ちの」なのでしょう。探ってみましょう。
6月 3日(木)	<b>諏訪鉄山を知る</b> 宮坂 敏郎(諏訪鉄山の歴史保存をすすめる会代表) 諏訪鉄山は古くは武田信玄が発見したと伝えられています。 蓼科湖から奥蓼科に至るまでに点在する鉄鉱山の総称です。昭和12年から38年まで本格稼働した日本有数の鉱山でした。
6月15日(火)	<b>「諏訪美術展」鑑賞(技能講座終了後)</b> 「諏訪美術展」が中央公民館で行われます。 諏訪美術協会の方々による案内で芸術鑑賞をしてみましょう。
6月23日(水)	<b>彩りある人生を紡ぐ</b> ～よりよく生きるために～ 小口 秀孝(すわまち運営協議会会長) 私たちは昭和・平成・令和へと、時代が変わる中で今を生きています。多くの出来事の積み重ねと人々の出会いにより、彩ある人生を歩んでいます。私たちは生きてきた証として、移ろいゆく地域の風景や伝承、人との交わりや出来事の変遷の記憶を過去から現在へ、現在から未来へと糸を紡ぐように繋いでいく責任があります。 彩のある人生とは、そしてよりよく生きるためのヒントは・・・
7月12日(月)	<b>「長野県準絶滅危惧種 国の天然記念物ヤマネ」</b> ～野生動物の四季と現状について～ 西村 豊(写真家) (富士見町文化財専門審議会委員) (公立諏訪東京理科大学 非常勤講師) ・天然記念物について(野生動物編) 天然記念物の区分レベル。指定する理由と必要性。 ・八ヶ岳のヤマネについて 茅野市、原村、富士見町エリアの現状について。 ・八ヶ岳の野生動物について どんな動物がいるのか、その行動について。 ・自然の素晴らしさ、不思議さを知りましょう。 自然の見方、目線、ワイドからマクロの世界 ・野生動物保護の難しさ 長野県野生傷病、鳥獣救護ボランティアについて。 ・野生動物の自然界における役目 小さな生きものから大きな生きもの昆虫などの役目、必要性。

7月20日(火)	<p><b>開智学校と筑摩県</b>  <b>小松 芳郎 (信濃史学会会長)</b></p> <p>明治6年(1873年)5月に開校し、9年4月新築の開智学校は、筑摩県の学校教育の拠点でした。明治4年から9年までの筑摩県の歩みをたどりながら、筑摩県権令(知事)永山盛輝のすすめた教育政策のなかでの開智学校について、いくつかの資料をもとにお話します。令和元年9月に国宝になった開智学校校舎をとおして、今日までの147年間の学校の変遷もあわせてみていきます。</p>
9月1日(水)	<p><b>響きに学ぶ</b>  <b>～その根底になるものを求め～</b>  <b>小松 睦示 (元富士見町教育長)</b></p> <p>子どもたちや仲間たちや多くの人々と触れ合う中で、草木や山河や空や文化や様々な事象に触れ合う中で、何気なくふと出会った中で、深く響いてきたものがあります。その中で、わたしたちには何が一体大事なのか。その事をご一緒に考えてみたいと思つて、私の乏しい響きをきっかけに、その底に何があるかをお話したいと思ひます。皆さんの出会った響きも聞ければと思っています。</p>
9月17日(金)	<p><b>どきどき わくわく いきいき</b>  <b>～関心・感動・感謝～</b>  <b>鋤柄 郁夫 (元松川町教育長)</b></p> <p>「親をみりゃ ぼくの将来しれたもの」(中2)  「おじいちゃん 柿も熟した死んだらあかん」(小4)  中2の俳句は最近の作品、小4は20年ほど前の作品です。二人はどんな人々とのふれあいの中で育ってきたのでしょうか・・・。  坂村真民(仏教詩人)は、「めぐり会ひの不思議に手を合わせよう」という言葉をのこしています。  人や自然や仕事などとの出会いを大切に、好奇心をもち心をときめかせて心身を磨いて参りましょう。  それが心の杖となり、生涯青春を支えてくれます。</p>

**(3) 技能講座【選択受講】 午後1:30～3:45**

**【開講期日】 6/15 7/2 8/10 8/20 8/26 9/10 9/28 全7回**

講座名 講師名	学 習 内 容
書道 伊藤 雅夫	<p>漢字・かな等の基本について学習します。条幅作品の制作も継続していきます。なお、書道希望者が20名を越えた場合には、人数調整させていただくことがありますので、ご了承ください。</p> <p><b>(道具について)</b>  一般に使用しているお習字道具で、子どもさんお孫さんのお下がりでもよいです。硯・筆・紙・墨等は初回当日に斡旋します。</p> <p><b>(初回の持ち物)</b>  書道用具一式</p>
水墨画 中野 昭彦	<p>水墨画は、墨の濃淡の暈し(ぼかし)・滲み(にじみ)・霞れ(かすれ)の技術によって、遠近感や立体感を表現させる描画方法です。白黒の単純な表現方法ですが、奥の深さを実感できる要素も持っています。筆と墨で表現する芸術に挑戦してみませんか。講座は、画題(A3用紙)を提示して、教室にて描き方を学び、画題作品を自宅で完成させます。その作品を次の講座にて、無記名で展示して、皆さんで合評し合いながら、技術・技能を上達させていきます。挑戦する課題の内容は、事前にお知らせします。ぜひ自分の作品を完成させて、展示することに挑戦してみませんか。</p> <p><b>(受講生が用意する材料や道具)</b>  道具は、水墨画用紙和紙麻紙(F6・F8・F10)・筆は、大中小の筆・下敷き・墨汁・調墨皿(白皿)・9B鉛筆・フェルト筆・特殊筆2～3種、入学講座時に注文書にて、次の講座までに用意します。</p> <p><b>(その他)</b>  自分の作品展示に関するノウハウや技術については、教室の中で学ぶようにしていきます。</p>

<p>フラワー アレンジメント 生原 加代子</p>	<p>「暮らしを彩るお花のアレンジ」 花との触れ合いは、心を穏やかに、また、豊かにしてくれるものです。生花やドライフラワー、プリザーブドライフラワーなど季節のお花でリースやブーケ、フラワーバスケットなどのアレンジメントを制作いたします。ちょっとしたテクニックでアレンジメントの完成度は上がるものです。皆さんで楽しみながらも自然にアレンジメントの技術が身についていくような講座です。男性、女性どなたでも参加できます。 (受講生が用意するもの) ハサミ(クラフト用:細いワイヤーが切れればよい)、物差しまたはメジャー、ペンチ (初回の持ち物) ハサミ、物差し(30cmくらい)またはメジャー</p>
<p>籐手芸 矢崎 美知子</p>	<p>籐ヅルを材料にして、日常使えるかご、皿、バック等を手作ります。楽しみながら一目ずつ気持ちを込めて仕上げた作品には、愛着がわきます。初めての方でも必ず作品として仕上がりますので、気軽にご参加ください。 (道具について) ハサミ・目打ち・エンマ(お持ちでない方には斡旋します) (初回の持ち物) 上記の道具、洗面器、霧吹き、メジャー、タオル、材料を入れる袋</p>
<p>リメイク 伊藤 かな子</p>	<p>お蔵やタンスの中で眠っている不用になった着物・帯・洋服等で、日常の生活に活用できる洋服・バッグ・生活雑貨等の制作をします。 ※ 受講定員は15名となります。 (道具について) 筆記用具、ものさし(50cmから100cm)、布切ハサミ、紙切ハサミ、裁縫道具、製図用紙(ない方には1枚30円で斡旋します。) (初回の持ち物) 参考作品を持参しますので、制作したいものを決めていただき製図します。筆記用具、ものさし、製図用紙をご用意ください。</p>
<p>俚謡・文芸 河西 允人</p>	<p>里謡の歴史や創造の基礎的なルールや約束について勉強します。実際は里謡の創作が中心になります。また、受講生の希望があれば短歌や俳句、川柳など、韻文を中心に学びます。 (持ち物) 筆記用具、国語辞典、ノート (初回の持ち物) 筆記用具、国語辞典、ノート</p>
<p>絵手紙 川田 和弘</p>	<p>下手でもいいが合言葉になっている絵手紙。でも、上手に描きたいと思う大人の見栄が壁になっていませんか。川田流はそれ+汚していい、わがままがいい。絵手紙という新しいジャンルは誰かに出すのではなく、水彩画に文字を入れたもの。諏訪地方にはぜい沢な素材が尽きず、それを絵や文字にすれば人生の絵日記に、しかも脳トレで〇〇防止の効果も期待大。講座7回では材料の特徴や使い方を楽しく実践します。 (道具について) F4スケッチブック、角顔彩絵の具、筆セットは用意をします。初回(6月15日)の講座にて5,500円の集金になります。 (持ち物) 新聞紙1枚、ぼろ布1枚(あれば日本手ぬぐい)、4Bか6Bの鉛筆1本、水を入れる容器(小さな広口ガラス瓶等)、消しゴム1個</p>
<p>水彩画 田中 正行</p>	<p>子どもの頃、絵を描く事が楽しかった思い出のある方、今は時間に余裕ができ、何か趣味を持ちたい方、心を豊かにしてくれる「水彩画」を始めませんか。講座が終わるころには家の玄関に飾れるような素晴らしい絵が描けるようになります。楽しい仲間もできます。 (道具について) 水彩絵の具(12色あれば十分)、筆(大、中、小)、鉛筆(2B~4Bくらい)、筆洗い、筆ふき用布(15cm×15cmくらい)数枚、※画用紙は用意します。 (初回の持ち物) 鉛筆、お持ちの絵の具(あればよい)</p>

**(4)卒業証書授与式【全員参加】 午前10:30~11:30 (含休憩10分)**

開講日	講師(敬称略)・演題・講演内容
10月6日(水)	<p>卒業証書授与式(10:30~) ※午後の技能講座はありません。 挨拶 式辞 送辞 答辞 技能講座講師へのお礼</p>

## 7 新型コロナウイルス感染防止対策について

- (1) 受講前に検温を行い、37.5℃以上もしくは平熱+1℃の場合は受講をご遠慮ください。
- (2) 公民館内ではマスク(できるだけ不織布マスク)を着用し、大声での会話をご遠慮ください。
- (3) 公民館内での飲食はできません(ロビーを含む)。ただし、熱中症予防の飲物等は持ち込み可能です。
- (4) 受講の2週間以内に感染拡大地域(10万人あたり5.0人をこえる地域<含県内>)に滞在もしくは往来した場合は、受講をご遠慮ください。
- (5) 保健所より濃厚接触者とされた場合、家族が濃厚接触者となった場合、あるいは身近で発症者がいた場合は受講をご遠慮ください。
- (6) 常に、3密(密閉、密集、密接)を避けるようにし、マスクを外しての会話をしないようにしてください。常にソーシャルディスタンス(概ね1m以上)をとって活動してください。
- (7) 感染防止の観点から、講堂での座席は指定席とさせていただきます。
- (8) 受講後、発熱や倦怠感、嗅覚や味覚の異常などの症状がありましたら、医療機関を受診するとともにただちに中央公民館までご連絡ください。

## 8 入学願書の記入について

- (1) **必ず、本人が正確に記入してください。**  
全てが記入されているか確認の上、ご提出ください。
- (2) 今までに在学された方は、**本学の在学履歴を忘れずに記入してください。**
- (3) 技能講座の選択ですが、**技能講座の人数が極端に少ない場合(概ね4人以下)**は、開講できないこともありますので、ご了承ください。また、希望人数が講座の定員を超えた場合には、**先着順(第1希望優先)**で人数調整を行いますのでご承知おき下さい。
- (4) 聴講生として受講される方は、聴講生欄の「①教養講座のみ希望」か、「②教養講座と技能講座の受講希望」を選び○をして下さい。②に○をした方は、技能講座欄を見て、第1希望・第2希望を記入してください。(※聴講生に限り、教養講座のみの受講は認められておりますが、技能講座のみの受講は認められておりません。)

## 9 申し込み手続き (※受付は、平日の午前9時～午後5時までです)

入学希望の皆さんは、募集期間中に入学願書を茅野市中央公民館窓口または、各地区コミュニティセンター窓口提出してください。

受講料・運営費3,000円については、入学式当日(技能講座打合せ後)に集金させていただきます。お釣りのないようにご用意ください。

## 10 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染防止に常に努めてください。日常生活でもリスクの高い行動を避け、感染防止(うつらない、うつさない)をお願いします。
- (2) 少しでも体調の変化を感じた場合は参加を見合わせるようにしてください。
- (3) できるだけ参加2週間前からの行動を記録していただくとともに、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」や新型コロナウイルス感染症対策長野県民手帳(アプリ版「どこキャッチ」)の利用もご検討ください。

茅野市高齢者大学事務局(茅野市中央公民館内)

住所 : 茅野市宮川4552-2

TEL : 72-3266

FAX : 71-1631

E-mail : kominkan@city.chino.lg.jp